

県南保健所感染症情報

令和6年 第 46 週

令和6年11月11日 ~ 令和6年11月17日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 46 週						警報レベル		注 意 報 告 レ ベル
		44 週		45 週		46 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	1.13		0.25		1.13		1.88		1.20		1.13		30	10	10
	COVID-19	1.38		1.00		1.75		1.90		0.80		1.75				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	0.20		0.00		0.20		0.26		0.09		0.20				
	咽頭結膜熱	0.40		0.00		0.20		0.27		0.18		0.20		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11.80	警報	11.40	警報	10.20	警報	2.29		2.98		10.20	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.20		0.40		0.20		3.18		1.95		0.20		20	12	
	水痘	0.40		0.20		0.00		0.21		0.25		0.00		2	1	1
	手足口病	0.80		0.20		1.00		4.17	警報	2.70	警報	1.00		5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00		0.00		0.00		0.56		0.11		0.00		2	1	
	突発性発しん	0.20		0.00		0.20		0.22		0.25		0.20				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00		0.00		0.10		0.30		0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.00		0.00		0.00		0.03		0.07		0.00		6	2	3
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	0.00		0.00		1.00	警報	0.02		0.13		1.00	警報	1	0.1	
	流行性角結膜炎	4.00		3.00		1.00		0.49		0.13		1.00		8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.04		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00		1.00		2.84		2.00		1.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇

一類感染症	報告なし
二類感染症	【第46週】 結核 患者1名(90代・女性)
三類感染症	報告なし
四類感染症	【第46週】 つつが虫病 患者1名(30代・男性)
五類感染症	報告なし

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆今シーズンのインフルエンザ総合対策について

※令和6年11月11日感感発1111第3号 厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課長通知別添抜粋  
 現在国内で流行している季節性インフルエンザのウイルスは、A(H1N1)亜型、A(H3N2)亜型とB型(ビクトリア系統)です。流行しやすい年齢層は、ウイルスの型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。以下を参考にして、御家庭や職場などにおいて、適切に対応していただくようお願いいたします。【基本的な感染対策】インフルエンザをはじめとする感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳(せき)エチケット」などが有効です。特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。高齢者と会ったり、通院や大人数が集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策への協力をお願いします。①マスクの着用が効果的な場面：高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診する時や、高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。そのほか、インフルエンザの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。②症状がある場合：咳や痰などの症状がある場合は、他の人への感染を防ぐため、「マスクの着用を含む咳エチケット」を心がけることが重要です。咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。鼻水・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。咳をしている人にマスクの着用をお願いします。【予防接種】インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。定期的予防接種の対象となる方は以下の通りです。(1)65歳以上の方(2)60~64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方  
 これらの方は、定期的予防接種として、1回のインフルエンザHAワクチン接種を受けることが可能です。  
 なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同日に接種することが可能です。